

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	Entertainment Marketing I		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	42回(84単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:19年 (株)ホリプロにてマネジメント業務に従事、退社後は、音楽業界外の仕事にも従事しながら、有名アーティストをマネジメント。その後、ビクターエンタテインメント、ソニー・ミュージックエンタテインメントを渡りながら、現在は独立してマネジメント業務、イベント制作業務、ブランディング、キャスティングを請け負っている。				
授業概要					
音楽市場の現状と楽曲やアーティストが売れている理由、現在どのような音楽番組・音楽雑誌があり、どのようなターゲットに向けて作られているのかを研究する。					
到達目標					
アーティストスタッフとして新人発掘のために必要な知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	マーケティングとは
【前期】 4～6回目	ビジョンや目標をたてる
【前期】 7～10回目	SWOT分析
【前期】 11～16回目	StrategyとTactics
【前期】 17～18回目	Promotionとpublicity
【後期】 1～4回目	海外と日本のマーケティングの違い
【後期】 5～9回目	マーケティングの今昔
【後期】 11～21回目	マーケティング基礎実践
【後期】 23～24回目	ゲスト対談
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	今や国内だけに留まらず世界を相手にしてマーケティングを行うため、国や時代によってどんな方法があるのかを学ぶことで柔軟な思考を養う。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	著作権講座	授業形態 / 必・選		講義		必修
		年次	1年次	年間単位数	5単位	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数		
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース					
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>					
担当講師 実務経歴	実務経験:32年 キティミュージック(現ユニバーサルミュージック)に入社。マネージャーを担当。退社後、さまざまなアーティストのマネジメント&原盤制作で、数々のヒットに貢献する。2005年にシューティングスター有限会社設立。主な業務としてマネージメント、原盤制作、ライブ制作等を行ない、現在はSEX MACHINEGUNSのエージェントなどに従事している。					
授業概要						
オリコンチャートを参考に現在の音楽業界の状況、用語、チャートの読み方の解説。ビジネス著作権検定初級の合格を目指した著作権に関する解説。						
到達目標						
著作権の基礎の理解、ビジネス著作権検定初級合格。						

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	オリコンチャートの解説と読み方、ビジネスと法/ビジネス契約と著作権 著作権の概要/著作権法の性質/著作権法の目的/著作物の定義/特別な著作物
【前期】 5～8回目	保護される著作物/著作者の定義/著作者の推定/著作者の例外 著作者と著作権者/著作者の権利/著作権の内容(著作者人格権と著作権)
【前期】 9～13回目	著作者人格権公表権/氏名表示権/同一性保持権/著作者人格権のみなし侵害行為/著作者人格権の一身専属性/人格的利益の保護/財産権としての著作権の内容
【前期】 14～18回目	複製権/上演権および演奏権/上映権/口述権 公衆送信権/公への伝達権/展示権/頒布権/譲渡権/貸与権
【後期】 1～5回目	二次的著作権に関する権利/保護期間の始期/著作権の保護期間/著作権の登録制度/著作物の国際的保護/外国人の著作物の保護期間/著作権の譲渡/譲渡に関する特掲
【後期】 6～10回目	著作物の制作委託と著作権の譲渡/共同著作権の場合/著作権の消滅/権利制限規定の趣旨/私的使用のための複製/付随的著作物の利用
【後期】 11～14回目	検討の過程における利用/教育関係/図書館関係/上演・演奏等関係/引用、転載関係/著作隣接権の内容/著作隣接権の制限と保護期間
【後期】 15～18回目	著作隣接権者(実演家)/著作隣接者(レコード製作者、放送事業者・有線放送事業者)/著作権の侵害/みなし侵害/著作権侵害罪/民事的対策/知的財産権制度
【後期】 19～22回目	産業財産権と著作権/情報社会と情報モラル/プライバシーに関する制度
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	音楽ビジネスの根幹となる著作権についての理解を深め、音楽ビジネスの成り立ちについてアーティストサイドの考え方も理解した上で、自分なりの考えを身につける。
使用教科書	ビジネス著作権講座テキスト使用。

## 専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	エンタメ業界講座	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験:15年 インディーズレコード制作会社設立から携わり、その後、CD流通会社に就職後、CD制作・営業・プロモーション業務に従事。現在はフリーランスとして独立しマネジメント業務やイベント制作業務を行っている。				
授業概要					
アーティストとプロダクションを中心とする、音楽業界のさまざまな職種と業務および関わりを学ぶ。					
到達目標					
業界内の会社知識の修得および業界企業の相関性の理解。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	業界の構図／芸能業界の全体像について
【前期】 3～4回目	プロダクション／ファンクラブ／レコード会社
【前期】 5～8回目	テレビ局／ラジオ局／出版社／Webメディア
【前期】 9～13回目	ポストプロダクション： 映像制作会社／編集スタジオ／MAスタジオ／レコーディングスタジオ／マスタリングスタジオ／リハーサルスタジオ
【前期】 14～20回目	コンサート制作： ホール／ライブハウス／イベンター／PA会社／照明会社／舞台製作会社／ローディー会社／機材レンタル会社
【後期】 1～6回目	マネタイズ:労働と対価／権利ビジネス／金銭を生む仕組み
【後期】 7～9回目	マネタイズ:マーチャндаイズ／販売サイトの立ち上げ方
【後期】 11～15回目	金銭管理:請求書の書き方／税金と申告
【後期】 17～20回目	金銭管理:プロジェクトの計画と損益分岐点／資金調達
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	音楽・芸能業界のさまざまな職種と業務および関わりを学ぶことで、各企業の関わり方、つながりを知る。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	キャリア講座 I	授業形態 / 必・選	講義	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	42回(84単位時間)	年間単位数 5単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴				
授業概要				
具体的な接遇教習を行う。				
到達目標				
奉仕型人間になる為の意識改革。 コミュニケーション能力の向上。				

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	自己・他己紹介:切り口を探す／好きな人をプレゼンテーション／クラスメイトインタビュ
【前期】 5～8回目	会話方法:腹式呼吸／発声、発音、滑舌／アクセント／イントネーション、間、聞き方／語彙力を味方にする／敬語／新聞を読み解く／声の表現を広げる
【前期】 9～13回目	ビジネス実務マナー検定について 必要とされる資質:ビジネスマンとしての資質／執務要件
【前期】 14～20回目	企業実務:組織の機能 対人関係:人間関係／マナー／話し方／交際
【後期】 1～4回目	電話実務:会話力／応対力 技能:情報／文章／会議／事務機器／事務用品
【後期】 5～8回目	ビジネス実務マナー検定:試験対策／模擬試験
【後期】 9～12回目	コミュニケーション:他者を知るために自分を知る／「ふつう」を考える／気にしすぎ症候群とは／「いやなこと」への心の対処法／考え方を広げる
【後期】 13～14回目	コミュニケーション:「～であるべき」「ふつう」とは／お得な自己開示／自己表現／自分の意見とは
【後期】 15～22回目	スピーチ:素材の選び方／原稿を考える／構成の仕方、推敲、添削／発表／総評
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	自分の第一印象について知ることで、自分の長所・短所をどのように変えていけば良いのかについて考え、自身のキャリアプランの作成に取り組み、自身の未来の構築について考えていくとともにビジネスマナーを習得する。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	レーベルワーク	授業形態 / 必・選	講義	選択必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	42回(84単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴:15年 インディーズレコード制作会社設立から携わり、その後、CD流通会社に就職後、CD制作・営業・プロモーション業務に従事。現在はフリーランスとして独立しマネジメント業務やイベント制作業務を行っている。				
授業概要					
プロダクションとマネージャーの業務内容を把握し、マネジメントの売上方や仕組み、プロダクションの立ち位置や役割、対メーカー、対媒体等、総合的に考え動くことができるよう、基礎となる知識を学ぶ。					
到達目標					
プロダクションやマネージャーに関する基礎知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	レコード会社の成り立ち レコード会社:仕事の流れ
【前期】 5～8回目	レコード会社:制作／宣伝／営業(販促)
【前期】 9～13回目	レコード会社:メジャーとインディーズ
【前期】 14～20回目	レコード会社:フィジカルとサブスクリプション
【後期】 1～4回目	制作:マーケティング 制作:コンセプト
【後期】 5～8回目	制作:楽曲づくり 制作:リファレンス
【後期】 9～12回目	制作:ジャケット制作基礎 制作:レコーディング基礎
【後期】 13～14回目	宣伝・営業(販促):宣伝プラン 宣伝・営業(販促):MV
【後期】 15～22回目	宣伝・営業(販促):営業プラン 宣伝・営業(販促):販促
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	アーティスト活動を支えるマネジメント業務/レコード会社業務の実務を学ぶことを目的とし、どのような形でマネージャーが業務に関わるか、レーベルスタッフが業務に関わるかを身につける。
使用教科書	随時プリント資料配布

## 専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ステージ・スタジオワーク	授業形態 / 必・選	講義	選択必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	42回(84単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当				
担当講師 実務経歴	実務経験:32年 キティミュージック(現ユニバーサルミュージック)に入社。マネージャーを担当。退社後、さまざまなアーティストのマネジメント&原盤制作で、数々のヒットに貢献する。2005年にシューティングスター有限会社設立。主な業務としてマネジメント、原盤制作、ライブ制作等を行ない、現在はSEX MACHINEGUNSのエージェントなどに従事している。				
授業概要					
アーティストが主役となるステージ、レコーディングの現場となるスタジオ等の場面における、スタッフとして必要な基礎知識を学ぶ。					
到達目標					
楽器や業界用語を取り入れた現場での対応法や知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	ライブ制作:スタッフの仕事を知る
【前期】 6～10回目	ライブ制作:企画から実現まで/お金の流れ
【前期】 11～15回目	ライブ制作:ステージ用語/楽器/機材
【前期】 16～20回目	ライブ制作:ステージ立ち位置
【後期】 1～6回目	レコーディング:スタッフの仕事を知る
【後期】 7～11回目	レコーディング:企画から実現まで/お金の流れ
【後期】 12～16回目	レコーディング:スタジオ用語を覚える
【後期】 17～22回目	レコーディング:譜面/機材
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	ステージやレコーディングで必要な用語や知識を蓄える。現場に良く出てくる言葉などを中心に解説/紹介を行い、イベント企画の提案から予算組み、各所折衝、プロモーション活動、使用許可などの事務、予算管理、実施から報告書づくりまで、全体の流れを学ぶ。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	セルフデベロップメント	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	21回(42単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴					
<b>授業概要</b>					
ポピュラーミュージックを中心に、洋楽、邦楽の歴史、その時代背景とムーブメントが起きた理由等を映像や音源で確認しながら解説。					
<b>到達目標</b>					
アーティストが持つバックボーンや音楽の歴史等の知識の修得。 音楽ジャンルに関する知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	アイデアを出す:連想法／シソーラス／ラテラルシンキング アイデアを出す:起承転結／流れ
【前期】 3～4回目	アイデアを出す→膨らませる:キーワードを出して書き出す アイデアを出す→膨らませる:オズボーンのチェックリスト
【前期】 5～7回目	思考の言語化
【前期】 8～10回目	文章による思考の表現①:相手の思考を推理する訓練／物語を作文する
【前期】 11～13回目	文章による思考の表現②:パラグラフライティング／想像力を養う／文章化
【前期】 14～15回目	論理的な思考① 論理的な思考②
【前期】 16～17回目	論理と破綻、そして発想
【前期】 18～19回目	アイデアを出すツール①:ブレインストーミング法のルール／ディスカッション法 アイデアを出すツール②:KJ法／マンダラート
【前期】 20～21回目	思考実験①:哲学者が考えた思考実験に取り組む 思考実験②:音楽関係の思考実験に取り組む
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	音楽業界に関わる人として、音楽の歴史を知るとはとても重要なことの一つ。授業を通して学んだことは、音作りや演出など直接反映され、将来の仕事につなげることができる。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	マネジメントワーク	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:32年 キティミュージック(現ユニバーサルミュージック)に入社。マネージャーを担当。退社後、さまざまなアーティストのマネジメント&原盤制作で、数々のヒットに貢献する。2005年にシューティングスター有限会社設立。主な業務としてマネージメント、原盤制作、ライブ制作等を行ない、現在はSEX MACHINEGUNSのエージェントなどに従事している。				
授業概要					
プロダクションとマネージャーの業務内容を把握し、マネジメントの売上方や仕組み、プロダクションの立ち位置や役割、対メーカー、対媒体等、総合的に考え動くことができるよう、基礎となる知識を学ぶ。					
到達目標					
プロダクションやマネージャーに関する基礎知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	マネジメントの成り立ち マネジメント:仕事の流れ
【前期】 3～4回目	マネジメント:情報収集/プロフィール作成 マネジメント:アーティストプランニング/スケジュールの組み方
【前期】 5～6回目	マネジメント:事務所/ファンクラブ/流通/出版会社
【前期】 7～8回目	マネジメント:営業/お店とインスタ/アウトストア
【前期】 9～10回目	マネジメント:ライブ制作/予算と場所/宣伝/グッズ
【前期】 11～12回目	マネジメント:セット図/セットリストについて
【前期】 13～14回目	マネジメント:GoogleMap/道路/新幹線/飛行機/行程組み
【前期】 15～17回目	芸能プロダクション:どんな事務所があるか? 芸能プロダクション:お金の流れ
【前期】 18～20回目	芸能プロダクション:俳優との関わり方 芸能プロダクション:タレントとの関わり方
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	アーティスト活動を支えるマネジメント業務/レコード会社業務の実務を学ぶことを目的とし、どのような形でマネージャーが業務に関わるか、レーベルスタッフが業務に関わるかを身につける。
使用教科書	なし。随時プリント資料配布



専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ファンクラブワーク	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	20回(40単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	実務経験:19年 音楽専門学校卒業後、レコード会社で宣伝、制作、マネジメントを経験。担当アーティストが紅白歌合戦出場。その後広告代理店でデザインを学び、当時担当していたアーティストの個人事務所にて、マネジメント、ファンクラブ、グッズデザインなどマネジメント全般を担当。現在はフリーランスのデザイナーとしても活動中。				
授業概要					
会報制作・アーティストグッズ・ホームページ・ファンクラブ運営等のような業務なのか、基礎知識を学ぶ。					
到達目標					
ファンクラブの存在価値や仕事内容の知識の修得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	ファンクラブの成り立ち ファンクラブ:仕事の流れ
【前期】 3～4回目	ファンクラブ:マネージャーとの連携
【前期】 5～6回目	ファンクラブ:マーチャンダイズ ファンクラブ:お金の流れ
【前期】 7～8回目	ファンクラブ:イベント・旅行会社の提携
【前期】 9～10回目	ファンクラブ:チケット優先
【前期】 11～13回目	ファンクラブ:グッズ制作
【前期】 14～16回目	ファンクラブ:会報誌制作
【前期】 17～18回目	ファンクラブ:Webサイト制作
【前期】 19～20回目	ファンクラブ:デザイン入稿
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	デザインを通じて、企画力などを総合的に身につけ、多角的な視覚と柔軟な行動力を身につける。また、外部実習を通じて、枠にとらわれない発想力を育む。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	パソコン実習 I	授業形態 / 必・選	実習	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数 2単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴				
<b>授業概要</b>				
Macの基本操作、Illustrator・Photoshopを使用した書類、印刷物などの作成方法、ファイルフォーマット知識等PCの基本的リテラシーを学ぶ。				
<b>到達目標</b>				
Google、Illustrator、Photoshopの基本的な操作法およびデータファイルのビジネスでの使い方の修得。				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ファイルの操作と知識:画像ファイル/音ファイル/動画ファイル/拡張子 コンピューターにおける色の表現:RGB/CMYK
【前期】 4～6回目	基礎的な色彩学 基礎的な画像処理理論
【前期】 7～9回目	ファイルの管理:クラウドの扱い/個人情報の扱い Chatツールの使い方 オンラインツールの使い方
【前期】 10～15回目	Google:Mailの設定/書き方のルール/署名/CC、BCC/Classroom/Meet/Form /Keep/Drive/Word、Excelとの連動
【前期】 16～20回目	Illustratorによるデザインと理論 Photoshopによる画像処理と理論
【後期】 1～6回目	Illustrator:基本的な図形作成/ペンツールの使い方/テキストの扱い/パスファイン ダ/紙のサイズと厚さの単位
【後期】 7～11回目	Illustrator:トリムマークの作り方/アピランス等の発展的使い方/画像配置/ク リップングマスク/フライヤーの作成
【後期】 13～17回目	Photoshop:カラーモード、解像度、サイズの変更/画像の切り抜き/レイヤーの扱い 方
【後期】 19～20回目	Photoshop:文字ツールを使う/バナーを作成してみる/画像の明るさ補正/色調補 正
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的 に評価)
学生へのメッセージ	Word/Excelなどの、ソフト使用方法を学び、効率の良いビジネス文章は書類の作成を 学ぶ。またillustrator、Photoshopを活用しデザイン・印刷など主にDTP(Desktop Publishing)のためのグラフィックコンテンツの作成技術を学ぶ。
使用教科書	随時プリント資料配布

## 専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	プロダクション実習 I	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	180分(1単位時間45分)	年間授業数	42回(84単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当				
担当講師 実務経歴	実務経験:32年 キティミュージック(現ユニバーサルミュージック)に入社。マネージャーを担当。退社後、さまざまなアーティストのマネジメント&原盤制作で、数々のヒットに貢献する。2005年にシューティングスター有限会社設立。主な業務としてマネジメント、原盤制作、ライブ制作等を行ない、現在はSEX MACHINEGUNSのエージェントなどに従事している。				
授業概要					
オーディション開催からアーティスト発掘までを行う。					
到達目標					
アーティスト発掘の方法論の修得。					

授業計画・内容	
【後期】 1～5回目	オーディション:オーディション概要/どんなアーティストを募集するのか
【後期】 6～10回目	オーディション:必要な宣伝方法/募集要項/選考方法/スケジューリング
【後期】 11～15回目	オーディション:オーディションライブプレゼンテーション練習
【後期】 16～20回目	オーディション:オーディションライブプレゼンテーション本番
【後期】 21～25回目	オーディション:オーディションフライヤー作成/エントリーシートなどの作成/1次審査、2次審査についての内容を決定
【後期】 26～31回目	オーディション:選考締切～1次選考～結果通達
【後期】 32～37回目	オーディション:選考締切～2次選考～結果通達
【後期】 38～42回目	オーディション:アーティスト顔合わせ
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	アーティストをマネジメント、プロモーションしていくうえでライブイベントは必須です。イベントを行う上で必要な知識を学び、実際にイベントを制作していく。また2年次に協力してもらおうアーティストをオーディションイベントを開催して自分たちの力で決定する。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	プロダクション実地演習 I	授業形態 / 必・選	演習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	180分(1単位時間45分)	年間授業数	8回(32単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。				
授業概要					
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。					
到達目標					
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。					

授業計画・内容	
1回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント リハーサル見学
2回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント
3～4回目	学園祭準備①②
5～6回目	学園祭①②
7回目	学園祭片付け、原状回復
8回目	外部企業見学
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	デザインワーク	授業形態 / 必・選	講義	選択必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	21回(42単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 <input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当				
担当講師 実務経歴	実務経験:19年 音楽専門学校卒業後、レコード会社で宣伝、制作、マネジメントを経験。担当アーティストが紅白歌合戦出場。その後広告代理店でデザインを学び、当時担当していたアーティストの個人事務所にて、マネジメント、ファンクラブ、グッズデザインなどマネジメント全般を担当。現在はフリーランスのデザイナーとしても活動中。				
授業概要					
会報制作・アーティストグッズ・ホームページ・ファンクラブ運営等のような業務なのか、基礎知識を学ぶ。					
到達目標					
ファンクラブの存在価値や仕事内容の知識の修得。					

授業計画・内容	
【後期】 1～2回目	Microsoftを使用したファンクラブテクニク
【後期】 3～4回目	Excel:関数sum/関数V LOOK UP/グラフ作成(SNSフォロワー数推移)
【後期】 5～6回目	PowerPoint:アーティストプロフィールの作成
【後期】 7～8回目	デザインのチェックポイントについて バランスや色使いについて
【後期】 9～10回目	Illustrator:デザインと理論
【後期】 11～13回目	Photoshop:画像処理と理論
【後期】 14～16回目	Illustrator/Photoshop:アーティストフライヤーの作成
【後期】 17～19回目	Illustrator/Photoshop:グッズデザイン～グッズの作成
【後期】 20～21回目	Illustrator/Photoshop:CDジャケット案作成
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	デザインを通じて、企画力などを総合的に身につけ、多角的な視覚と柔軟な行動力を身につける。また、外部実習を通じて、枠にとらわれない発想力を育む。
使用教科書	随時プリント資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	アーティスト研究	授業形態 / 必・選	講義	選択必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	21回(42単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験25年 音楽ソフトの企画・制作からプロモーション、アーティストマネジメントに従事。その後、ヘアメイク、スタイリスト、カメラマン、デザイナーなどクリエイターのマネジメントに移行。現在も幅広く業務を行っている。				
授業概要					
ポピュラーミュージックを中心に、洋楽、邦楽の歴史、その時代背景とムーブメントが起きた理由等を映像や音源で確認しながら解説。					
到達目標					
アーティストが持つバックボーンや音楽の歴史等の知識の修得。 音楽ジャンルに関する知識の修得。					

授業計画・内容	
【後期】 1～2回目	音楽の仕事: 自分にとっての音楽について考える 音楽の歴史: 概要～全体像認識
【後期】 3～4回目	音楽の歴史: 音楽ジャンルについて(邦楽、洋楽の変遷) 音楽の歴史: 音楽シーン/相関(邦楽編)
【後期】 5～6回目	音楽の歴史: 音楽シーン/相関(UK編) 音楽の歴史: 音楽シーン/相関(US編)
【後期】 7～8回目	音楽の歴史: 音楽シーン/相関(その他地域編)
【後期】 9～10回目	音楽に触れる: 好きなアーティスト探し、アーティスト分析 カリスマの存在: 歴史を作ってきた代表的なアーティストについて研究
【後期】 11～13回目	音楽を楽しむ: 音楽の楽しみ方を考える アーティストプレゼン: アーティスト選定
【後期】 14～16回目	アーティストプレゼン: 魅力の伝え方
【後期】 17～19回目	アーティストプレゼン: プレゼン準備
【後期】 20～21回目	アーティストプレゼン: 発表
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	音楽業界に関わる人として、音楽の歴史を知るとはとても重要なことの一つ。授業を通して学んだことは、音作りや演出など直接反映され、将来の仕事につなげることができる。
使用教科書	随時プリント資料配布